

# 静岡県 御前崎市



## 高松地区 学び歩き マップ



指定文化財HP



所在地地図

### 高松の由来

この地の村落は、高松山、唐人山、七ツ山等の周りに、門屋村、合戸村がで、その後合戸から塩原新田が独立して三か村となった。門屋村には古墳時代からの遺跡が残されている。

「高松神社社記」によると、701年(大宝元年)この地に鎮座する高松神社が建立されたころには、大部分が神社の境内や領地内に存していた。門屋村と合戸村の村名は高松神社の関係から作られたと伝えられる。

1889年(明治22年)、町村制の施行によりこの三か村は池新田村と合併し、池新田村と呼ばれたが、昭和30年の五ヶ町村合併により高松地区とされた。

### お問い合わせ

- 御前崎市役所 社会教育課
  - 高松まちづくりの会
  - 高松地区センター
- 御前崎市池新田 5585 御前崎市門屋 2060-2  
TEL.0537-29-8735 TEL.0537-86-4949

2024年3月現在 第3版

### 1 御手洗の水源(みたらしのすいげん)

MAP C-2



ここを「奥御手洗」といい、以前はここから大量の湧き水が出ていた。冷たく澄んだ水のたまり場は、子どもたちの絶好の遊び場でもあった。奥御手洗から南へ150m程を高松神社の「御手洗」という。

現在、湧き水は少なくなったが、今でも近隣の一部の家庭で生活水として利用されている。

### 2 高松小学校跡(たかまつしょうがっこうあと)

MAP C-3



高松小学校は、1905年(明治38年)に池新田小学校から分離され、第二尋常高等小学校として合戸東前に創立されたのが始まり。1916年(大正5年)に現在の高松保育園がある地に移転された。昭和45年3月31日、再び池新田小学校と統合し、第一小学校を創設するため閉校となった。閉校以来、65年間に約3,000人の卒業生を送り出した。

### 3 唐人山と春埜山(とうじんやまとはるのさん)

MAP D-3



唐人山の名前の由来は定かではないが、江戸時代には遠州灘沖で難破する船が多く、それを見張ったり、黒船が通るのを見張ったりしたので、この名がついたとも伝えられる。



山頂にある春埜山は、1872年(明治5年)、村に疫病が大流行したため、浜松市天竜区の春埜山から分霊し、無病息災と村中安全を祈願した。

また、塩原地蔵堂が老朽化したため、令和元年、観音菩薩など9体をここに納めた。

### 4 高松神社(たかまつじんじゃ)

MAP B-2



御前崎市有形文化財(本殿)

「高松神社社記」によると、701年(大宝元年)文武天皇の勅願により、紀州熊野三社のうち新宮の熊野速玉大社分神を高松山へ勧請され、以来1300年にわたり地域の氏神として崇拝されてきている。本殿は1784年(天明4年)に再建され、その後屋根の葺き替

えなどが行われ今に至っていると伝えられる。

213段ある石段を登ると大海原を一望できる社と社があり、漁の時「無事に帰る」ための目印にもなっていた。

毎年秋の祭典には五穀豊穡や家内安全、氏子の繁栄を神に奉納する相撲が行われる。1828年(文政11年)の「遠淡海志第二」に相撲の記載があり、200年近い伝統があることがわかる。

### 5 関橋様(せきばしさま)

MAP B-2



昔、奥沢川(現高松川)に「関橋」と呼ばれる一枚板の橋が架かっていた。

1596年~1615年(慶長時代)、今川義元の遠縁にあたる関口という者が、江戸への旅の途中に大出水に遭い当地まで流された。そこで治山・治水を願い、この橋の袂に霊神を祀った。「水神様」とも呼ばれたこの霊神は、咳(風邪)を治す神としても信仰を集めた。

昭和46年にゴルフ場の開発に伴い、現在の場所にお堂が移された。

### 6 全歸庵(ぜんきあん)

MAP B-2



やくしにょらい ほんぞん りんざいしゅうみょうしんじ  
薬師如来を本尊とする臨済宗妙心寺派の末寺である。寺歴ははっきりしていないが、1512年(永正9年)仏光国師の法孫、相州鎌倉円覚寺五世三宥大禅師の開基開建になるという。

境内には海上がりと伝えられる阿弥陀如来立像が西国三十三番の観音菩薩とともに安置されている阿弥陀堂(通称 観音堂)がある。

### 7 春埜山(はるのさん)

MAP B-2



昔、この辺りには狐が多く、悪さをしていた。それを封じるために、浜松市天竜区にある春埜山からお犬様のお札をいただきここに祀った。現在の御堂は昭和63年に建て替えられたものである。

天竜区の春埜山は修験道の狼(山犬)信仰の山とされ、山頂近くには地元の人が「お犬様」と呼ばれる春埜山大光寺がある。

### 8 沖之宮神社(おきのみやじんじゃ)

MAP D-2



この神社の祭神は「奥野左衛門尉惟吉」といわれる。惟吉は文武天皇から紀州熊野の三社をこの地へ勧請するように命を受け、701年(大宝元年)、横須賀の地に本宮(熊野神社)を、高松山の地に新宮(高松神社)、小笠山の地に那智(小笠神社)を祀った。

その後、惟吉は高松山の沖之須に居住し、神官としてこの地の発展に尽くしたという。惟吉の死後、子孫が災難除け、長寿を願い神社を建立し永くその霊を祭っている。

### 9 大日堂(だいにちどう)

MAP D-2



この辺りの庵に住んでいた尼僧が、1625年(寛永2年)に祠を創建した。

お堂には大日如来の石仏が安置されていたが、損傷がひどく、平成元年6月、当所の地主がこれを復元し長永寺の住職により開眼供養された。

### 10 古巻明神(こまきみょうじん)

MAP D-1



かつて、この古巻地区に疫病が流行ったため、人々の病を治し健康と繁栄を願い1729年(享保14年)古巻神社を造立、高松神社より分霊をいただき鎮座された。

現在のお堂は昭和46年に建て替えられたもので、毎年10月吉日に神事が行われている。

### 11 社宮司様(しゃぐうじさま)

MAP D-1



社宮司山と呼ばれる小高い地には、江戸時代、年貢を取り立てるために土地を測量した間竿や間縄を祀った「社宮司様」と、観音様のお顔と地蔵様の胴をつなぎ合わせた石像「観音地蔵」と「馬頭観音」が祀られている。

検地はたいへんきびしい調査であったため、

検地が無事済んだ後に感謝を込めて間竿や間縄を大切に神に祀ったといわれている。また、ここには185年以上棲息しているといわれるウバメガシの大木がある。

### 12 長永寺(ちょうえいじ)

MAP C-1



この寺は、1180年(治承4年)藤原権中納言吉良郷が現世を捨て竹峯和尚と称し当山を開創したと伝えられる。1695年(元禄8年)大坂村(現掛川市)貞永寺の法孫巍山和尚によって再興され、1840年(天保11年)臨済宗妙心寺派寺班一等地長永寺となり現在に至っている。境内の天壽会館には行基作と伝えられる薬師如来像や弘法像、天神様など8つの神仏が祀られている。

### 13 天寿観音堂(てんじゅかんのどう)

MAP D-1



この観音堂は、江戸時代にこの地にあった西方寺の門前に創建されたもので、本尊は木彫りの「如意輪観音」で、平成12年に塗り替えがされ金色の輝きを放っている。その他に「半跏思惟像」が彫られた石仏や、たくさんの供養塔が並んでいる。子ども好きの観音様といわれ、例年7月には子どもたちも参加して土地の人々がお念仏を上げ供養している。

### 14 門屋ホタルの里

MAP D-2



以前、この辺りではホタルの舞う姿が多くみられたが、近年ではほとんどなくなった。美しい夏の風情を取り戻そうと、平成12年に「門屋ホタルの会」が発足し、毎年ホタルの幼虫を飼育し川に放流した。その努力が実り、現在では5月の中旬から下旬にかけて、初夏の風物詩としてホタルの乱舞がみられるようになった。

### ■軽便鉄道 駿遠線駅舎跡(けいべんてつどう すんえんせんえきしゃあと)

- 合戸駅 MAP B-3
- 塩原新田駅 MAP C-4



昭和23年に開業された駿遠線は「軽便」と呼ばれ藤枝市から御前崎市を經由して袋井市を結ぶ全長64.6kmという軽便鉄道としては日本一の営業距離であった。自社工場で製造されたディーゼル機関車は、鉄道マニアから「蒙古の戦車」と呼ばれていた。

高松地区には2駅があり、戦後の農作物や海産物の買い出し客でにぎわっていた。1970年(昭和45年)7月31日、駿遠線の幕は降ろされた。

# 静岡県御前崎市 高松地区学び歩きマップ

- 合戸コース 約4km 徒歩 約90分  
.....の区間は、階段になります
  - 塩原コース 約3.5km 徒歩 約80分
  - 門屋コース 約4km 徒歩 約120分
- コースの一部に歩道が無い道路、横断歩道が無い箇所、細い道があります。気をつけて通行してください。

